



- 第8回通常総会・講演会
- 事務局からのお知らせ
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/http://misa.or.jp ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



MISA 第8回通常総会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 早坂 栄二



開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変ご多用のところ、御来賓の皆様をはじめ多くの会員の皆様にご出席いただき誠にありがとうございます。

平素より当協会の活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

おかげさまで、MISAの活動ですが、会員数は全国3位、昨年度も各委員会による自律的な活動は多岐にわたり、多くの成果を生み、還元できたのではないかと考えておるところです。活動に当たられた各委員会のみなさま、ありがとうございました。

本日の総会では、それら「昨年度に実施しました事業結果及び収支決算」についてご審議いただきます。また今年改選期ですので、「理事・監事の選任」についてお諮りいたします。

また報告事項としては、「2019年度に実施する事業計画及び収支予算」についてでございます。宜しく願い申し上げます。

さて、我々情報サービス産業を巡る環境ですが、企業等のIT投資が拡大する中、「足元の事業」は、堅調に推移しているのではないかとおもわれます。これらは主にいわゆる「基幹業務を実現するIT」といいますか、現在の社会のベースを動かしているIT」であり、我々情報サービス産業はそれらのシステムを通して、日々社会をしっかり支えている、と言えると思います。

一方これらに対し、いわゆる「ビジネスのデジタル化」のITも、じわじわと拡大しています。基幹的ITが一段落するにつれ、お客様の投資が急速に進化するクラウド、IoTやAI等といった最先端技術を徹底活用し、新たなビジネス価値を実現していく領域にシフトしつつあります。関連するきらきらしたキーワードが、新聞やネット上で踊らない日はありません。

そのような中で我々「地域のIT事業者の未来」は、次のように描けるのではないのでしょうか。

・ビジネスにおける役割

「MISAビジョン（中期事業計画（29～31年）」で

も描いていますが、今後とも、「社会を支える基幹システム」の担い手であると同時に「社会を変えるデジタルビジネス」の担い手でもあるべきだと考えます。

・地域に対する役割

強く、光る企業群となり、地域を支えリードする「基幹産業」になりたい。

・我々の仕事の有りよう

生き生きと、ワクワクと、そして感動をともにできる、若者がより大きな魅力を感じる業界にしていきたい。

それらを踏まえ、事業運営会議や理事会において、役員改選にあわせた推進体制の見直しを議論してきました。その背景やねらいは、二つです。

- ① 業界を担う次世代リーダーの登場をお願いし、委員長、副委員長についていただく
- ② 理事会と委員会で、役割を分担する
(これまで各理事は委員長を兼ね、自ら業務執行をリードしてきましたが、今後は個別の業務執行を若手の各委員長にお願いする。現在の理事の方々にはできるだけ再任をお願いし、より高い立場から活動を見ていただく。)

皆様方からの一層のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は、東北大学理事・副学長の青木先生のご講演をいただきます。本気で大学をより良く変え、産学連携のオープンイノベーションを実現されている、素晴らしい先生です。お話が楽しみです。

以上、簡単ですが、開会にあたっての挨拶といたします。



第8回通常総会開催報告

去る6月14日（金）第29回理事会終了後、午後2時より一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の第8回通常総会が仙台市「TKPガーデンシティ仙台」において開催されました。

総会は早坂会長の開会挨拶、宮城県経済商工観光部次長の佐藤 靖彦氏よりの来賓挨拶のあと、早坂会長が議長に選任され、正会員数175社、出席会員数118社（内委任状提出31社）の1/2以上の出席により議事に入り、いずれも提案通り承認されました。

- 第1号議案 平成30年度事業実績について
- 第2号議案 同上 収支決算及び会計監査結果について
- 第3号議案 2019、2020年度理事及び監事の選任について
- 第4号議案 2019年度事業計画について
- 第5号議案 同上 収支予算について



通常総会に引続き、東北大学理事 副学長の青木孝文氏による、「デジタル革新時代の産学連携オープンイノベーション~東北大学の取組について~」と題する講演会が開催されました。

その後の250名を超える出席者のもとで恒例の交流会が開催され、柴崎事業共創委員会委員長の開会挨拶、東北経済産業局地域経済部の柏芳郎次長、仙台市経済局の大上喜裕部長からのご来賓挨拶、田代新理事による乾杯の発声に引続いて懇談に入り、午後7時、小原新副会長の御開きの辞を以ってすべての行事を無事終了しました。

令和元年度 MISA 新役員名簿

役員	氏名	所属・役職	役員	氏名	所属・役職
会長 (代表理事)	新 石 森 令 一	東北インフォメーション・システムズ株式会社 取締役社長	理 事	木 村 智	公益財団法人仙台市産業振興事業団 副理事長
副会長	阿 部 嘉 男	株式会社SRA東北 代表取締役社長	//	佐々木 卓 也	株式会社トレック 代表取締役
	新 小 原 正 孝	テクノ・マインド株式会社 代表取締役社長	//	佐 藤 麻 美	株式会社Minorityソリューションズ 執行役員
常務理事	穴 沢 芳 郎	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 事務局長	//	鈴 木 利 信	株式会社アテネコンピュータシステム 代表取締役社長
理 事	新 伊 藤 正 則	株式会社エスクルー 代表取締役社長	//	新 田 代 紀 生	システムニ科尔株式会社 参与
//	大 森 清 視	株式会社ビッツ 取締役	監 事	小 林 貴 之	株式会社ラネックス 代表取締役社長
//	奥 瀬 伸 一	東北NSソリューションズ株式会社 代表取締役社長	//	新 菅 原 文 彦	株式会社システムロード 代表取締役
//	菅 野 直	ハイスリープロジェクト株式会社 代表取締役社長			

新会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 **石森 令一**



先程開催されました第30回理事会において会長に選任されました石森でございます。

IT産業は、デジタル化やモバイル化等の変化に応え、どう社会と産業の形を変えて対応していくかを問われる時代を迎え、「より速く大量に業務を処理するための改善」ではなく、「情報化を通じて新しい価値を生み出す仕組みづくり」であるデジタルトランスフォーメーション（DX）、そして長時間労働のない働き方改革などの価値観の変革は必須となっております。

このような状況下、MISAに課せられた社会的使命、取り組むべき課題、果たすべき責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

お聞きしますとMISAは平成8年の設立から数えて23

年目を迎え、売り上げでは全国10位、会員数で全国3位の団体に成長しているとのこと。

これも歴代会長をはじめ、役員・会員の方々のご支援・ご協力の賜物と思っております。

また、早坂前会長におかれましては、三期6年にわたり、東日本大震災後の厳しい環境の中、優れた見識と強いリーダーシップのもとに大変なご尽力を賜りました。この場をお借りし改めて敬意を表したいと存じます。

私といたしましても、IT業界の社会的使命を改めて再認識しつつ、MISAの発展に少しでもお役に立てるよう努力してまいります。

会員各位の絶大なるご協力のほどをお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

来賓挨拶

宮城県 経済商工観光部 次長 **佐藤 靖彦氏**



早坂会長を初め役員の皆様、そして会員企業の皆様におかれましては、日頃より本県の情報サービス産業の振興と発展にご尽力頂いておりますことに深く敬意を表しますとともに県の各種施策の推進に日頃より格別のご理解・ご協力を賜り、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、県では富県宮城の実現に向けてさらなる企業誘致の推進と誘致企業と県内企業との取引拡大を図りながら、中小企業、小規模事業者向けの各種施策を展開しているところでございます。特に情報サービス産業分野におきましては、業界の現状やニーズを踏まえ、IT商品販売・導入支援、企業立地支援等に積極的に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

また、IT人材の育成に関しましては、長期的なIT技術者不足や人材の首都圏への流出などにより、県内の情報サービス産業を支える人材の確保が課題であると認識

しております。

このため、貴協会にご協力いただきながら、地域創生人材育成事業等IT人材育成にも取り組んでいるところでございます。

第4次産業革命といわれる技術革新により、新たな経済発展や社会構造の変革が一気に進むことも見込まれており、県内情報サービス産業の皆様にはその担い手として大いに活躍していただくことをご期待申し上げます。また、今後も貴協会及びに会員企業の皆様とは、富県宮城の実現に向けた取り組みの重要なパートナーとして、なお一層の連携を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後のますますのご発展と本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 次長 柏 芳郎 氏



宮城県情報サービス産業協会第8回通常総会が滞りなく終了され、本交流会が盛大に開催されますことに心よりお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、発足以来、地域社会の高度情報化の促進と産業・経済の発展に大きく寄与され、これまでの関係各位のご尽力に心より敬意を表する次第でございます。また、日頃より私共経済産業行政に格別なるご理解とご支援を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、世界的にICT機器の爆発的普及やAI、IoT、ビッグデータ等の社会実装が進む中、社会のあらゆる場面でデジタル革命が急速に進展してきております。他方、我が国は人口減少、少子高齢化、エネルギー・環境制約等、様々な社会課題に直面しており、これらを解決するための技術と人材、データと現場等の新たなマッチングを通じたオープンイノベーション、社会改革を飛躍的に進めることが不可欠となっております。

こうした中で政府は、Society5.0を実現するため、昨年6月に閣議決定した未来投資戦略2018に続き、今月7日には、デジタル時代の新たなIT政策大綱を決定したところでございます。経済産業省におきましても、本年度も100億円の予算を措置し、サービス等生産性向上IT導入支援補助金、いわゆるIT導入補助金、これによって中小企業のバックオフィス業務等へのITツ

ルの導入を促進し、生産性向上、業務効率化などによる付加価値向上を図ってまいることとしております。ご参会のITベンダーの皆様におかれましては、多くの中小企業の皆様にこうした施策を活用していただきますよう、引き続き身近な支援者としてお力沿いをくださいますようお願い申し上げます。

また、東北経済産業局のPRになりますが、先月、東北の新しい未来に向け持続ある経済成長のための、今後3年間の取組を中期政策として発表させていただきました。この政策では5つの重点分野を柱としておりその一つに東北地域を牽引する企業・産業の持続的発展を掲げております。具体的には、自動車、航空機、医療機器などについて重点産業分野として引き続き支援していくこととしている他、IoT、AI、ビッグデータ、サイバーセキュリティ等の利活用や新産業の創出支援など競争力強化の取組を広く展開していくこととしております。これらの政策推進に際しましても、関係機関の皆様と連携してまいり所存でございます。皆様方の引き続きご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、令和の新しい時代を迎え石森新会長のもとに、宮城県情報サービス産業協会が今後一層地域社会の高度情報化に資するようご期待申し上げますとともに協会のますますのご発展、ご参会の皆様方のご健勝を祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

来賓挨拶

仙台市 経済局産業政策部 部長 大上 喜裕 氏



本日は、通常総会が盛会の内に終了したとのこと、心よりお喜び申し上げます。

本来であれば、仙台市長の郡 和子市長が参りましてご挨拶するところかと思いますが現在、仙台市議会が開催中でありまして、代わってご挨拶させていただきます。

MISAの会員の皆様方には、日頃から市政に対しまして多大なるご理解とご協力を頂きこの場をお借りし御礼申し上げます。

近年、人口減少社会の到来や経済のグローバル化、それにIoT、AI、5Gを初めといたします先端技術の進展によりまして、社会経済環境が大きく変化してきている

ところでございます。これらの変化に的確に対応しながら地域経済の持続的な成長を達成していくために本市では今年の3月に、今後5年間精力的に取り組むべき改革の方向性を取りまとめた「仙台市経済成長戦略2023」を策定させていただいたところでございます。今年度からはこの戦略に基づきまして、地域経済が成長する基盤づくりとして、若者の地元定着や女性、シニア層等の多様な人材の活躍促進、そして地元企業の更なる成長を促進するために、上場等を目指す企業の皆様方の集中的ご支援、また中小企業の中核となられます方々の育成支援にも取り組んでまいることといたしております。

そして、先端技術の進展により様々なイノベーションが起こっておりますけれども、そういったイノベーションによる新たな成長を地域経済の中でも促進していく必要があると考えておりました。地域ICT企業の皆様と異業種のマッチングの機会を創出したり、防災・減災分野に関わるICT利活用による産業の創出等積極的に進めていきたいと考えているところでございます。

特にイノベーションによる新たな成長の促進につきましては、Society5.0を実現する「X-Techイノベーション推進都市仙台」という形で重点プロジェクトを掲げさせていただいております。ICTを健康福祉分野や農林水産、それからスポーツ分野等の異業種とかけ合わせることによりまして、地域産業の高度化や新事業の創出を目指したいと考えております。

今年度は、ヘルスケア領域の課題をICTで解決する新たな取り組みといたしまして、ヘルステック事業を開始いたしますとともに、経済産業省様そしてJETRO様

が実施されます地域への「対日直接投資カンファレンス」に本市をご採択いただきましたことから、防災・減災分野とICTのかけ合わせをテーマとしたハッカソンやビジネスマッチングイベント等を開催させていただき予定でございます。いずれの事業も地域ICT企業の皆様のご協力なくして成し得ない取組となっておりますので一つのビジネスチャンスととらえていただき参画いただきますよう、この場を借りて案内をさせていただきます。

また、本日は、地元企業の人材確保と地元定着支援の一環として、大学等の新卒者を対象とした奨学金返還支援事業のリーフレットをお配りさせていただきました。既に60社ほどの企業の方々に登録いただいておりますが、今年度からの新事業でございますので是非ご活用いただければと思います。

最後になりますが、MISAの益々のご発展そしてご参会の皆様のご活躍・ご発展を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



第8回通常総会 記念講演会 デジタル時代の 産学連携オープンイノベーション ～東北大学の取組について～

東北大学理事 副学長 青木 孝文 氏



今後国際的な競争の中で生き残り、経済再生を果たしていくためには、革新的なイノベーションを連続的に生み出していくことが必要であり、現在潜在している将来社会のニーズから導き出されるあるべき社会の姿、暮らしの在り方等、既存分野・組織の壁を取り払い、基礎研究段階から実用化を目指した産学連携の研究開発が求められています。

東北大学では、事業イノベーションセンターやIIS研究センター等数多くの先進的な支援機構を設立し、新しい情報技術を活用したエレクトロニクス・通信・エネルギー・素材・医療分野・農水産等新たなライフ分野での革新的な社会実装に向けた取り組みを行っています。今回の講演ではそれら取組についての説明であり、地域IT産業の積極的な関わりを改めて認識する内容となりました。

講演会(一部抜粋)「東北大学の概況から」

東北大学もここに来て結構モードチェンジをしています。大学を取り巻く環境は少子化が進み厳しい状況になってきており、そういう意味で大学の在り方も変わってきています。

デジタル革新時代といわれていますが、一番情報化が遅れているのが大学です。私立大学は結構進んでいますが国立大学のデジタル化は遅れていて、RPAがものすごく役に立っています。

東北大学は10学部、15大学院があります。大学院が15あるということは独立の大学院も結構あるということです。情報科学、環境科学、生命科学とか、これは学部がないのですが、工学部あるいは理学部といったところと連携し、独立で動く大学院です。学生数は約18,000人います。そのうち留学生が2,000人くらいで過半数は中国人ですが世界各地から来ています。教職員、

正規職員は3,000人ずつおり、時間雇用やプロジェクトを含めると1万人弱となっています。

総事業費は約1,400億円です。入学者は全国区となっており、宮城県からは15%入って、15%が宮城県へ就職しています。ただ、大体35%が東北出身で、21%くらいが東北に就職しているという状況です。ですからあと15%くらいこちらに残して、ある種の新しい仕事をしてもらい地域を活性化していくことが課題と思っています。

「東北大学の研究領域から」

研究は、今日国内で言う3位か4位という位置づけになっています。これは阪大と争っている状況にありますが、国際的にはこれからまだまだ伸ばしていかなければと思っています。

東北大学で最近強いところといますと、材料領域です。それからスピントロニクス、これは半導体に磁気記録を入れていくというような研究です。それから未来型医療、バイオバンクです。そして災害科学も強いです。その他にすく伸びているところが機械科学でワールドランキングでは30位くらいになっています。今、機械系の人たちはIT系の企業と連携をしたいというシーズが高まっています。大手のIT系でもいいのですが大手

はなかなか現場に入ってもらえないのが現状です。そういう意味で、MISA会員企業の中から研究に参加いただき、制御の部分やプロジェクトの一部を担うとかしていただければ非常にありがたいと思っています。そして、文・教・法・経の文系4部局も全部入って研究を進めているということです。

「オープンイノベーション戦略機構から」

これは私がトップをしています、民間企業から10名くらい入って産学連携が本格的にスタートしていません。ライフ系の仕事をされている方は少ないかもしれませんが、いろいろなことが考えられます。先ほど東北大学は材料系が強いと言いましたが、材料が産学連携の1/3です。残りの1/3がライフ、そのほかIT関係や電気関係が1/3となっています。実はライフは非常に伸びていて1、2年前に比べて3割くらいの勢いで上がっており大変面白い状況になっています。東北大学には医学系研究科と病院があり、病院は日本最大です。病院の中に臨床研究センターがあり、これも日本最大で、医療機器などの分野の医工学、その治験に取り組んでいます。これも工学の力やITを活用し未病の段階から予兆をチェックするようなことも考えられますので、そういう領域で皆さんも入る可能性が十分あると思います。



一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 (MISA)
第8回通常総会・記念講演会

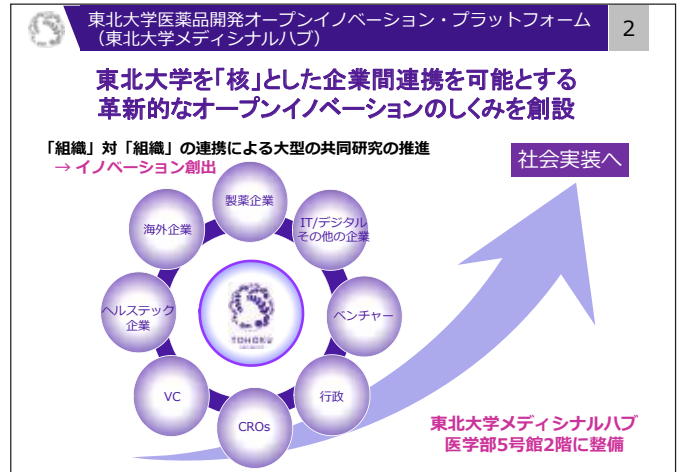
**デジタル革新時代の産学連携
オープンイノベーション**

東北大学の取り組みについて

2019年 6月 14日

東北大学 理事・副学長
(企画戦略総括、プロボスト)

青木 孝文



東北大学医薬品開発オープンイノベーション・プラットフォーム
(東北大学メディシナルハブ) 2

**東北大学を「核」とした企業間連携を可能とする
革新的なオープンイノベーションのしくみを創設**

「組織」対「組織」の連携による大型の共同研究の推進
→ イノベーション創出

社会実装へ

東北大学メディシナルハブ
医学部5号館2階に整備



事務局からのお知らせ

未経験者／職種転換者等向け技術研修受講者の募集／受講料無料！ 空き有り！

「地域高度 IT 技術者育成事業（宮城県委託）」として、「新たに県内 IT 企業へ就職した未経験者等」を対象とした教育研修を 12 月より開催します。

<対 象> プログラミング未経験の 中途採用者（第 2 新卒を含む）、社内でのスキル転換 など

<定 員> 20 名

<開催期間> 2019 年 12 月 2 日（月）～ 2020 年 2 月 7 日（金） 合計 42 日間（※コース単位での単独受講も可）

- ・ビジネス基礎素養 (2 日間) 12 月 2 日（月）～3 日（火）
- ・コンピュータ基礎 (10 日間) 12 月 4 日（水）～17 日（火）
- ・Java 言語 (10 日間) 12 月 18 日（水）～1 月 9 日（木）
- ・サーバサイド Java/DB 連携 (10 日間) 1 月 10 日（金）～24 日（金）
- ・システム開発（PBL 型実習）(10 日間) 1 月 27 日（月）～2 月 7 日（金）

【お問合せ・お申込】 MISA 事務局までご連絡ください（申込締切 11 月 18 日（月））

宮城県サイバーセキュリティ協議会からのお知らせ

CyberNews

偽の警告に注意！

最近、「偽の警告」に関する相談が増えています。被害に逢わないよう注意しましょう。

「偽の警告」とは？

- インターネットサイトの閲覧中、突然
- ・ウィルスに感染しています
 - ・セキュリティシステムが破損しています
 - ・エラーを修正してください

等の「セキュリティの警告」画面が表示されます。画面の表示と共に音声や警告音が流れることもあります。これらの画面は、「偽の警告」である可能性があります。

※警告※

あなたのパソコンでウィルスが見つかりました！！

〇〇に電話し、危険なウィルスを削除しましょう。
サポートセンターに電話が繋がるまで、インターネットを使用しないでください。

xxx-〇〇〇まで至急電話ください

サポートセンターへ電話するよう誘引され、画面に表示された番号へ電話すると電話の相手（犯人）から

- ・遠隔操作のソフトをインストールするよう指示される
- ・サポート契約の話を持ち掛けられる
- ・ウィルス駆除等の費用を請求される

●絶対に電話をかけないでください

【電話をかけてしまった場合】

- ◆電話番号を着信拒否設定し、その後の不審電話に注意する

【遠隔ソフト等をインストールしてしまった場合】

- ◆遠隔ソフトをアンインストールする
- ◆各種アカウントの ID・パスワードを変更する
- ◆セキュリティソフトのアップデート・ウィルススキャンを実行する



委員会報告

2019年度 MISA新入社員研修

人財委員会

人財委員会育成Gでは、MISA会員企業の中核となり将来を担うシステムエンジニアの育成を促す事業活動の一環として、「新入社員研修」を開催しています。

新入社員研修のカリキュラムは、システム開発の基礎を体系的に学ぶ「システム開発技術者育成コース」を主軸に置いていますが、働く姿勢・ビジネスマナーやコミュニケーションなどの人間力を高める「ビジネス基盤養成コース」との二本立てです。技術力と人間力を両軸に育成するのが特長です。

システム開発技術者育成コースは、情報系／非情報系、プログラミング経験の有無に関わらず受入れています。開発言語は、豊富な研修教材、資格試験により客観的にレベルが評価でき、他言語への応用性も高いJavaを選択しています。

終盤では、約2週間にわたって業務アプリケーション開発の模擬プロジェクト演習を行いました。「何のため」「誰のため」といったユーザ視点を意識しながら、限られた時間の中で自分たちの持ちうる力を最大限に発揮して取り組んでいただきました。

ご参加くださった新入社員の皆さまの、今後のご活躍を期待しております。



<2019年度MISA新入社員研修>

- 開催日 2019年4月2日～6月10日（44日間） 9：30～17：30
- 場 所 アエル6F 仙台市中小企業活性化センターセミナールーム
- 参加者 ①ビジネス基盤養成コース 14社58名
②システム開発技術者育成コース 8社43名

※2020年度は、受講企業からのご要望等をもとにカリキュラムを更新のうえ、2019年12月募集開始の予定です。

委員会報告

芋煮ケーション2019参加企業募集

グローバル
ビジネス
委員会

毎年恒例MISA主催による新・就活イベント「芋煮ケーション」を開催致します。

「芋煮ケーション」とは、学生と企業の経営者や採用担当者が芋煮・BBQを通してコミュニケーションを図り、会社説明会などでは聞けないような本音を交わせる新しい形の就活イベントです。

今年は【留学生 × 地元IT企業】をテーマとして学生枠を外国人留学生に限定し、留学生の現状共有と地元IT企業の職場環境の国際化をコンセプトとしています。

午前の部はセミナーやパネルディスカッションにて「東北インバウンドの現状」や「外国人と一緒に働くコミュニケーション」についてお伝えします。午後の部は芋煮会を通して留学生との交流をお楽しみ頂けます。

毎年、参加企業様から「芋煮ケーションで会った学生がインターンや採用面接に応募してきた」との声を頂いております。どうぞお気軽にご参加ください。

また、当イベントの企業スポンサーも合わせて募集しています。協賛金額に応じて様々なスポンサー特典を用意しておりますので是非学生へのアピールにご活用ください。

<開催日>

令和元年10月26日(土)

<会場>

茂庭荘 ※仙台駅からシャトルバスにて送迎※

<定員>

企業側 40名 / 学生側 40名

<参加費>

企業側 5,000円/人

<申込先>

募集Webページの申込フォームから送信ください。
(<http://www.misa.or.jp/?p=13216>)



委員会報告

第36回MISA親睦ゴルフ大会

経営
委員会

■開催日：平成31年4月13日(土)

■場 所：「仙台クラシックゴルフ倶楽部」

第36回MISA親睦ゴルフ大会は、快晴で素晴らしいゴルフ日和の中、無事に開催する事が出来ました。

以前にプロのトーナメントを開催したことがある「仙台クラシックゴルフ倶楽部」で開催しましたが、グリーンの上上がりがよく高速グリーンに参加者の皆さんも苦勞していたようです。

15組59名が参加し、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。



【成績】(敬称略)

●個人戦	NET	HC	
優勝：小倉 博文	(71.2)	(22.8)	(株)アクシス
準優勝：佐々木 勇	(72.2)	(16.8)	(株)カーム
第3位：富永 竜一	(73.2)	(22.8)	テクノウイング(株)
第4位：増子 良一	(73.4)	(15.6)	イートス(株)
第5位：神戸 利明	(73.6)	(14.4)	(株)東北電子計算センター

●団体戦(上位3名のNET合計)	NET	計
優勝：佐々木 勇、村上 登、大森 克敏、鈴木 則行	227.2	
準優勝：小倉 博文、日向 輝雄、高橋 義治、遠藤 好朗	227.6	
第3位：李 基滢、高橋 純、大森 清祝	229.6	

第2回

IT
あるある
川柳

MISA 会報 46 号「IT あるある川柳」に、会員企業 11 名の方より 30 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品 1 点、準グランプリ作品 1 点と佳作 2 点には Q U O カードがそれぞれ贈呈されます。

👑
グランプリ

熟練の
技は『ひとまず
再起動』

T I S 東北(株) 鶴岡 主税様

👑
準グランプリ

グーグルの
ナビに従い
行き止まり

ハリウコミュニケーションズ(株) 丹野 正志様

👑
佳作

パソコンが
人より先に
熱中症

システムニコール(株) 齋藤はる奈様

新元号

改修先は
新言語

東北ティーマシーエス(株) 柴崎 晃輔様

委員会報告

カレイ釣り大会 in 塩釜沖大型漁礁

福利厚生
委員会

6月22日(土)に『MISA 主催：カレイ釣り大会 in 塩釜沖大型漁礁』を開催しました。

今回もカレイが大好物な猛者 29 名が塩釜港に集まり、約1時間の船旅で漁場に向かいました。

当日の天候は、風もウネリも少なく絶好の釣り日和となりました。

釣果にあっては、40cm オーバーのカレイが 20 枚以上と大物の入れ食い状態で皆さん楽しまれたようです。



【大会結果!】

- 優勝：51.5cm 小室 清貴 様
(株)システムロード
- 2位：50cm 小野 正蔵 様
東北インフォメーション・システムズ(株)
- 3位：47cm 多田 良光 様
(株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー



ITで、
感動を、
ともに。

私たちTOINX(トインクス)は、
ITで実現する新たな価値を
地域社会に届け続けます。
ともに手を取りあい、
どんな時も誰よりも近くで、
しっかり支え、キッチリ守ります。
さらに、一歩踏み込んだ提案をし、
期待をこえる感動を届けます。

トインクス
TOINX
ITで、感動を、ともに。

東北インフォメーション・システムズ株式会社

Q トインクス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

第16回MISA会長杯フットサルMリーグ夏大会

第16回MISA会長杯フットサルMリーグ夏大会を6月8日(土)リベラ鶴巻で開催しました。

朝から雨であいにくの天候でしたが、M1(エムいち)8チーム、M2(エムに)8チーム、M3(エムさん)8チームの24チーム275名の参加による戦いとなりました。本番に先立ち5月22日にはキャプテン会議を開催し各クラスの昇格・降格ルールのもと、M1、M2、M3のカテゴリーを決定しました。今大会は24チーム出揃い、白熱した試合が行われました。年々応援の方も増え、参加者も声援にこたえるべく、必死にプレーをしていたのが印象的でした。

結果はM1がMinoriソリューションズチーム、M2がテクノ・マインドチーム、M3がサイバーコムチームの優勝で終了しました。試合後のお楽しみ豪華抽選会も恒例となり、盛大に終了しました。

毎年夏大会、秋大会2回の開催を引き続き開催して参りますので、多くのチーム、並びに選手・応援の皆さんが参加できる楽しい大会となるよう企画しますので、各チームの絶大なるご協力をお願いいたします。



◆M1 結果

- 優勝 (株) Minori ソリューションズ
- 準優勝 コンピューターマネージメント (株)
- 3位 東北インフォメーション・システムズ (株)
(株) NTTデータ東北
- C優勝 (株) NID東北



M1 優勝 Minori ソリューションズチーム

◆M2 結果

- 優勝 テクノ・マインド (株)
- 準優勝 (株) クロスキャット
- 3位 (株) SJC
(株) フリースタイル
- C優勝 (株) ケーヒンエレクトロニクステクノロジー



M2 優勝 テクノ・マインドチーム

◆M3 結果

- 優勝 サイバーコム (株)
- 準優勝 (株) 東日本技術研究所
- 3位 (株) アテネコンピュータシステム
(株) アイエスピー東北
- C優勝 コンピューターサイエンス (株)



M3 優勝 サイバーコムチーム

令和元年度 委員長・副委員長名簿

委員会	役 職	氏 名	所 属	役 職
経 営	委員長	伊 藤 正 則	(株) エスクルー	代表取締役社長
	副委員長	菊 田 明 洋	(株) ソフトエイジ	取締役部長
人 財	委員長	岡 田 晃 男	(株) SRA 東北	ソリューション事業部長
	副委員長	中 嶋 竜 大	(株) ナナイロ	代表取締役社長
	//	及 川 公 司	(公財) 仙台市産業振興事業団	経営支援部 主事
	//	高 橋 将 志	(株) データウェイ・システムズ	代表取締役
	//	高 谷 将 宏	(株) エヌエスシー	常務取締役
福利厚生	委員長	山 内 祐 治	(株) 東北システムズ・サポート	編成事業推進部長
	副委員長	相 場 映 希	(株) NTT データ東北	営業部課長代理
	//	後 藤 陽 佑	(株) アイエスピー東北	システム開発部 課長
	//	高 野 慎 也	トライアロー (株)	東北支店長補佐
事業共創	委員長	柴 崎 健 一	(株) トレック	専務取締役
	副委員長	岩 佐 浩	(株) アイエスピー東北	常務取締役
	//	淡 路 義 和	(株) コー・ワークス	代表取締役
グローバル ビジネス	委員長	小 林 貴 之	(株) ラネックス	代表取締役社長
	副委員長	三 浦 哲 志	b.mode (株)	代表取締役
	//	高 橋 洋 人	(株) Sola.com	代表取締役
ビジネス推進	委員長	宮 野 滋 貴	(株) Minori ソリューションズ	仙台開発部マネージャー
	副委員長	星 孝 志	カメイ (株)	法人営業部 係長
	//	佐 藤 亮	(株) NTT データ東北	公共事業部 課長代理
広 報	委員長	日 向 勇 輝	(株) イッツ・コーポレーション	マネージャー
	副委員長	今 野 寿 道	(有) マインドアクセス	代表取締役
政策提言	委員長	伊 藤 正 則	(株) エスクルー	代表取締役社長
	副委員長	広報委員会を除く各委員会の委員長、副委員長若しくは委員会を代表する者		

豊富な AI 導入実績をもとに お客様の業務に合わせた 最適な画像認識 AI を開発します

通信建設業のリーディングカンパニー、コムシスグループの一員である当社では建設業での実績はもちろんのこと、製造業や他業種のお客様にも導入実績があり現場に沿った最適な AI システムをご提案しています。

高所作業前の安全具装着点検

鉄塔に登る等の高所作業では、作業前に安全具の装着状態を写真で撮影し、システムに登録するルールを定めています。ただし、写真のリアルタイムでの確認は困難であり、装着不備の指摘にタイムラグが生じてしまう問題があります。当社では、写真から装着が必要な安全具が装着されているか判定する AI を作成、迅速に安全確認を行うことが可能になりました。



太陽光パネルの障害検知

太陽光発電所を管理しているお客様では、太陽光パネルの設置エリアが広すぎるため、パネルの故障や汚れによる発電効率の低下が放置状態となってしまう課題を抱えていました。当社では、ドローンでメガソーラーを撮影し、不具合箇所や汚れ等を AI が自動で検知し、自動で報告書を作成する Web サービスを開発しました。これにより、点検作業の効率化を実現することが可能です。



アナログメーターの数値読み取り

アナログメーターにおいて、定期的巡回をし、値を記録する必要があるものや、定点で常時監視が必要なものの数値読み取りを自動化します。これにより、巡回作業の効率化や人の移動を削減することができ、また値が特定の範囲を超えた場合にアラームを発出するなどの仕組みも構築できます。



コムシス情報システム株式会社

■本社 社：〒108-8610 東京都港区高輪 3-23-14
TEL：03-3448-7331
E-mail：bd_contact@mlb.comjo.co.jp

■仙台事業所：〒984-0075 宮城県仙台市若林区清水小路 8-36 コムシス仙台ビル 7F
TEL：022-214-2212

時の言葉

デジタルトランスフォーメーション (DX)

世界の中では、デジタルテクノロジーの進化に伴い、続々と新しい製品・サービス、ビジネスモデルが誕生し、私たちの生活に大きな変化が生まれています。そんな変化をしていく社会の中で注目を浴びているのが「デジタルトランスフォーメーション (DX:Digital Transformation)」です。DXは2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱された概念で「進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく」というものです。

言い換えると「進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものに変革すること」。DXを直訳すると「デジタル変換」という言葉になりますが、“変換”というよりも“変革”という言葉が鍵になります。ただし、DXが及ぼすのは単なる「変革」ではなく、デジタル技術による破壊的な変革を意味する「デジタル・ディスラプション」、すなわち既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすものです。

では、ビジネスシーンにおけるデジタルトランスフォーメーション (DX) の定義とはどのようなのでしょうか。経済産業省が2018年12月に発表した「DXを推進するためのガイドライン (DX推進ガイドライン)」では次のように定義されています。

「企業がビジネス環境の厳しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し競争上の優位性を確保すること。」

では今、なぜDXが注目されているのでしょうか。

デジタル技術の進化に伴い、あらゆる業種においてこれまでにない新しい製品やサービス、ビジネスモデルを展開する新規参入企業が続々登場しています。こうした時代の潮流の中で、多くの企業では従来の権益を保つために競争力の維持・強化を図る必要に迫られています。そのために求められているのがDXを急速に進めていくこととなります。しかし、会社の組織改革を含めた従来のビジネス全体を大きく変えることは難しく、本格的にDXに踏み出せているのは一部の先進企業のみというのが現状です。

そんな日本企業の現状に危機感を持ち経済産業省が2018年9月に発表したのが「DXレポート～ITシステム「2025の崖」克服とDXの本格的展開」です。

このレポートでは

- ・既存基幹システムの老朽化に対して、デジタル市場の拡大とともに増大するデータ
- ・メインフレームの担い手の高齢化による世代交代の必要性
- ・テクノロジーの進化に伴うIT人材の不足

等について提唱し、この中で強調されているのが「2025年までにシステム刷新を集中的に推進する必要がある」ということです。もし対策をとることが出来ず放置してしまった場合、次のような警鐘を鳴らしています。

- ①市場の変化に合わせて柔軟かつ迅速にビジネスモデルを変更できず、デジタル競争の敗者になってしまう
- ②システムの維持管理者が高齢化することで技術的負債を抱え、業務基盤そのものの維持・継承が困難になる
- ③保守運用の担い手が不足することで、サイバーセキュリティや事故・災害によるシステムトラブル、データ減失等のリスクが高まる

これらのターニングポイントを2025年としていることから、多くの企業がDX推進を課題とする状況が生まれているということになります。



会員異動状況 (令和元年5月1日以降の入会関係)

正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・179社 賛助会員・・・41社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
5月1日	ルネッサンスルパン(株) (代表取締役 中島 利晃)	〒020-0021 盛岡市中央通1-9-11 CUBE映画館通りビル4F TEL 019-656-8555 FAX 019-656-8571
6月17日	東北テクニカルシステムズ(株) (代表取締役 工藤 魁)	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-8-17 小林ビル1F TEL 080-6003-1106
6月17日	Cosylab Japan(株) (代表取締役 Rok Hrovatin)	〒985-0842 多賀城市桜木3-4-1 みやぎ復興パークF21号館 TEL 080-1937-3995
7月2日	(株)ワークポート (仙台支社 支社長 丸亀 賢大)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-22-405 TEL 022-355-9581 FAX 022-355-9582
7月16日	(株)バランテック (代表取締役 笠原 茂)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-10 仙台会館ビル3F TEL 022-797-6536
7月5日	(株)システム創造開発 (代表取締役 渡辺 哲也)	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-26秋葉原村井ビル6F TEL 03-5331-2681 FAX 03-5331-8073

(敬称略)

MISA フォトコンテスト結果報告

MISA 会報 46 号フォトコンテストに、会員企業 10 名の方より 24 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品1点には商品券、準グランプリ作品2点と佳作5点にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

表紙に
掲載

グランプリ

「輪王寺」
エリクソン・ジャパン (株)
石川 綾香 様

準グランプリ

「夏への道」
(株)トレック
遠間 裕貴 様



準グランプリ

「松島夏の樹木」
(株)アート・システム
鳥澤 強志 様



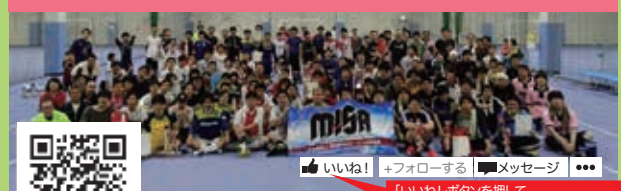
MISAでは、ホームページ・Facebookページより情報発信を行っています。是非ご覧ください！

MISA ホームページ



ホームページURL <http://misa.or.jp/>

MISA Facebookページ



FacebookページURL <https://www.facebook.com/miyagi.misa>